

令和3年1月18日

全国専門委員 各位

(公財) 全国高体連剣道専門部  
部長 土崎 祐一郎  
[公印省略]

全国大会（選抜大会、インターハイ）における面マスク等の取り扱いについて

時下 ますますご清栄のことと存じます。日頃より本専門部の諸事業にご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、全日本剣道連盟（以下、全剣連）から新たな見解が示されました。これは、全剣連の主催する大会要項や試合・審判委員会が全国で行っている「ブロック別試合・審判研修会」の中で示されたものになります。全国高体連剣道専門部としましても、新型コロナウイルス感染拡大予防の面から、この新たな見解に従って全国大会を実施していくことといたしました。

全国専門委員の先生方におかれましては、以下をご確認いただくとともに、関係の皆様にご周知いただくよう、お願い申し上げます。

なお、今後全剣連より感染症の状況に応じて新たなガイドライン等が示された場合は、本専門部としての対応等について改めてお知らせいたします。

[全国高体連剣道専門部としての新たな見解]

- 1 面マスクは、口と鼻の両方を覆うものとする。
- 2 シールド（マウスシールド・アイシールド・一体型）については、口元を覆うマウスシールドの装着を義務付け、その他のシールドについては、併用を推奨するが義務付けるものではない。
- 3 試合者、審判員は試合中マスクを着用する。それ以外の開会式、閉会式、待機中等においても常時マスクを着用する。その際もマスクは口鼻を隠し、正しく装着する。

なお、今後の地方大会等についても、この新たな見解に従って実施するようお願いいたします。ただし、周知までの時間が短く、生徒（試合者）の健康・安全上に支障が出る恐れがある等の判断をした場合は、健康・安全を最優先させた上で実施時期を決めていただくようお願いいたします。

以上

【問い合わせ先】 (公財) 全国高体連剣道専門部  
事務局長 植木 伸広  
携帯：090-2569-9135  
e-mail：Nobuhiro\_Ueki@education.metro.tokyo.jp